

## VI 参考資料

### 1 アンケート調査

- (1)鶴ヶ城公園来場者アンケート（観光ビューロー実施）平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月
- (2)インバウンド事業外国人観光客アンケート（観光ビューロー実施）平成 27 年 10 月～11 月
- (3)会津若松商工会議所登録事業所に対するアンケート（商工会議所実施）平成 28 年 10 月
- (4)県観光地実態調査アンケート（県実施）平成 26 年 2 月～11 月
- (5)第 2 次観光振興計画見直しに関するアンケート（市政モニター）平成 28 年 1 月
- (6)県内出身の学生に対するアンケート（福島県立テクノアカデミー会津学生）平成 28 年 2 月～3 月
- (7)会津観光応援隊に対するアンケート（会津観光応援隊）平成 28 年 5 月～6 月

### 2 市民・観光関係者の声

- 会津若松市第 7 次総合計画の市民会議等の意見（平成 27 年 11 月 企画調整課）
- 会津若松ルネッサンス委員会提言（平成 28 年 2 月）
- 観光振興計画策定のための市民意見交換会  
（平成 28 年 3 月 会津若松市第 7 次総合計画の市民会議しごとづくり部会市民委員 4 名参加）
- 観光関係団体等との意見交換（平成 28 年 8 月～9 月）

### 3 計画策定までの経過

### 4 計画策定の組織体系

### 5 会津若松市観光審議会

### 6 会津若松市観光振興条例

# 1 アンケート調査

## (1)鶴ヶ城公園来場者アンケート

(一財) 会津若松観光ビューロー実施の鶴ヶ城公園来場者アンケート結果

〈調査概要〉

調査日：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

回答数：673 名

調査方法：鶴ヶ城公園来場者に対して実施

### ①性別

男性 322 人 (48%) 女性 349 人 (52%) 不明 2 人 (0%)

### ②年齢

10 歳未満 66 人 (30%) 10 代 201 人 (30%) 20 代 62 人 (9%) 30 代 56 人 (8%)  
40 代 78 人 (12%) 50 代 53 人 (8%) 60 歳以上 123 人 (18%) 不明 34 人 (5%)

### ③どちらからおこしになりましたか。

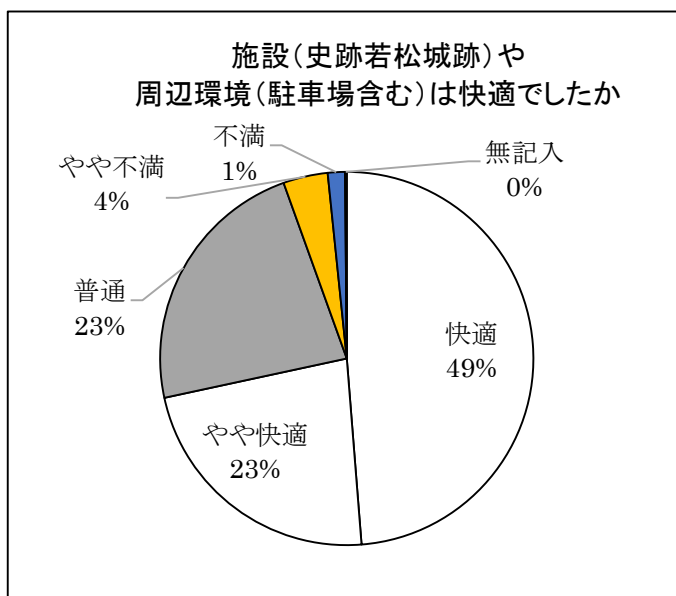
関東 325 人 (50%) 東北 181 人 (23%) 甲信越 42 人 (9%) 東海 30 人 (4%)  
近畿 29 人 (5%) 九州 10 人 (1%) 北陸 8 人 (1%) 北海道 7 人 (1%)  
中国 7 人 (1%) 外国人 4 人 (1%) 不明 30 人 (4%)

### ④施設(史跡若松城跡)や周辺環境(駐車場合む)は快適でしたか

快適 328 人 (49%) やや快適 154 人 (23%) 普通 154 人 (23%)  
やや不満 26 人 (4%) 不満 10 人 (1%) 無記入 1 人 (0%)

意見…鶴ヶ城天守閣は高齢者にとりバリアフリーでないのできつい。

鶴ヶ城の駐車場にたどり着くまで分かりづらい。

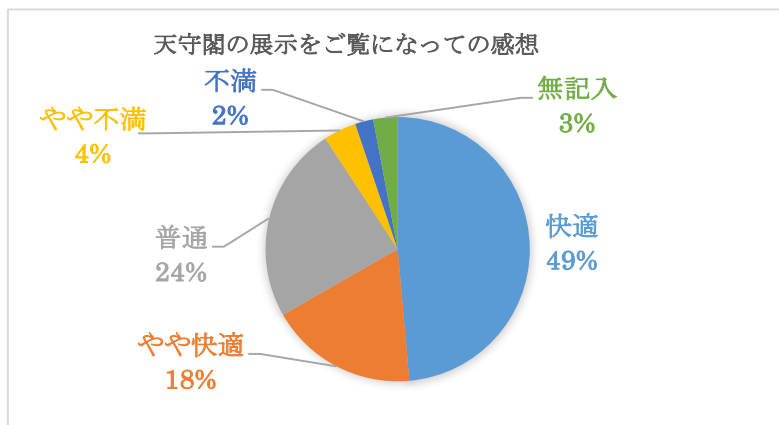


### ⑤天守閣の展示をご覧になったの感想

満足 327 人 (49%) やや満足 122 人 (18%) 普通 162 人 (24%)

やや不満 27 人 (4%) 不満 15 人 (2%) 無記入 20 人 (3%)

意見…景色が綺麗。説明が分かりやすかった。更新されていて常に新しい内容となっていてよい。人形などを使って展示して欲しい。昔の天守閣の様子を復元して欲しい。展示物が少ない、絵や文ばかりでつまらない。お城に関する説明が少ない。刀（良かったとの意見。展示要望も多い。）



## (2)インバウンド事業外国人観光客アンケート

(一財) 会津若松観光ビューロー実施のアンケート結果

〈調査概要〉

調査日：平成 27 年 10 月～11 月

回答数：62 名

調査実施場所：東山温泉・芦ノ牧温泉・観光案内所・御薬園

調査方法：会津若松市を訪れている外国人の意向を調査

### ①国籍

台湾 29 人 (47%) アメリカ 8 人 (13%) ドイツ 4 人 (7%)

オーストラリア 4 人 (7%)

### ②旅行スタイル

団体 38 人 (60%) 個人 24 人 (40%)

団体旅行の多くは台湾です。

### ③同行者数（自分を除く）

30 人以上 15 人 (24%) 1 人 15 人 (24%) 2 人 8 人 (13%) 20 人以上 4 人 (6%)

### ④本市への訪問回数

初めて 47 人 (76%) 3 回目 7 人 (11%) 2 回目 5 人 (8%)

約 2 割がリピーターです。

### ⑤本市の宿泊数

1 泊 31 人 (48%) 2 泊 10 人 (16%) 3 泊以上 13 人 (20%) 日帰り 5 人 (8%)

### ⑥本市の情報の入手方法

観光案内所 17 人 (24%) インターネット 16 人 (22%) 書籍 14 人 (20%)  
家族友人 12 人 (17%) パンフレット 6 人 (8%)

### ⑦本市の観光の目的 (複数回答可)

自然や環境景観 35 人 (16%) 城や武家文化等 31 人 (14%) 温泉や露天風呂 32 人 (15%)  
名所旧跡 19 人 (9%) 食事 12 人 (6%) 祭りやイベント 11 人 (5%)

### ⑧本市で魅力的に感じた観光素材 (複数回答可)

城や武家文化等 35 人 (21%) 自然や環境景観 29 人 (18%) 温泉や露天風呂 26 人 (16%)  
町並み 17 人 (10%) 名所旧跡 16 人 (10%)

### ⑨本市で購入したお土産 (複数回答可)

食品 36 人 (56%) 工芸品 9 人 (14%) 民芸品 8 人 (12%)  
美術作品 3 人 (5%)

### ⑩本市の観光の満足度

良い 27 人 (51%) やや良い 21 人 (40%) 普通 5 人 (9%)  
やや悪い 0 人 悪い 0 人

### ⑪まちなか観光に求めるもの

Wi-Fi 環境 25 人 (57%) ガイド 8 人 (18%) 免税店 3 人 (7%) カード利用 2 人 (4%)

### ⑫ご意見 (自由記述)

- ・まちなか周遊バスが便利。
- ・親切で礼儀正しく接してくれる。
- ・多くの食堂でメニューに写真と金額が載っていた。
- ・屋内に Wi-Fi を設置し、看板も英語にすべき。
- ・交通機関や観光施設での英語表記を増やすべき。

## (3)会津若松商工会議所登録事業所に対するアンケート

会津若松商工会議所実施のアンケート結果

〈調査概要〉

調査日：平成 27 年 10 月

回答数：223 事業所 (調査対象企業数 1,006 事業所 回答率 22%)

調査方法：商工会議所の観光・旅客運送、小売商業部会の事業所を対象に調査

### 【回答事業所の概要】

#### ①業種

小売業 119 件 (53%) 飲食業 44 件 (20%) 旅館ホテル業 16 件 (7%)  
観光施設業 10 件 (5%)

#### ②従業員数

1 人～4 人 108 件 (48%) 20 人以上 41 件 (18%) 5 人～9 人 39 件 (18%)  
10 人～19 人 20 件 (9%)

## 【調査内容】

### ③来店または売上の傾向

#### ・東日本大震災前と比較

減少傾向 136 件 (63%) 不変 51 件 (24%) 増加傾向 28 件 (13%)

#### ・前年と比較

減少傾向 122 件 (58%) 不変 55 件 (26%) 増加傾向 35 件 (17%)

### ④観光客を取り込む上での貴事業所の課題

教育旅行の誘致 63 件 (24%) 旅行形態の変化 60 件 (23%)

訪日外国人への対応 44 件 (17%) 設備投資 43 件 (16%) 施設老朽化 37 件 (14%)

### ⑤教育旅行に関して当所や市で取り組んで欲しいこと

放射線に対する環境安全性の広報 93 件 (27%) 学校関係者への説明強化 87 件 (25%)

ガイドブック等の充実 56 件 (26%) 旅行代理店へのPR 56 件 (26%)

受入側の研修 48 件 (14%)

### ⑥貴事業所での訪日外国人への対応

対応していないが必要性を感じる 117 件 (55%) 対応の必要がない 55 件 (26%)

既に対応している 19 件 (9%) 対応を検討している 18 件 (9%)

### ⑦前質問で「必要性を感じる」「対応を検討している」、受入で不安な点

語学〈コミュニケーション〉 97 件 (43%) 店内表示 58 件 (26%)

クレジットカードへの対応 24 件 (11%)

ハラール・ベジタリアン等外国人特有の知識への対応 13 件 (6%)

免税の導入 12 件 (5%) Wi-Fi 環境の導入 10 件 (4%)

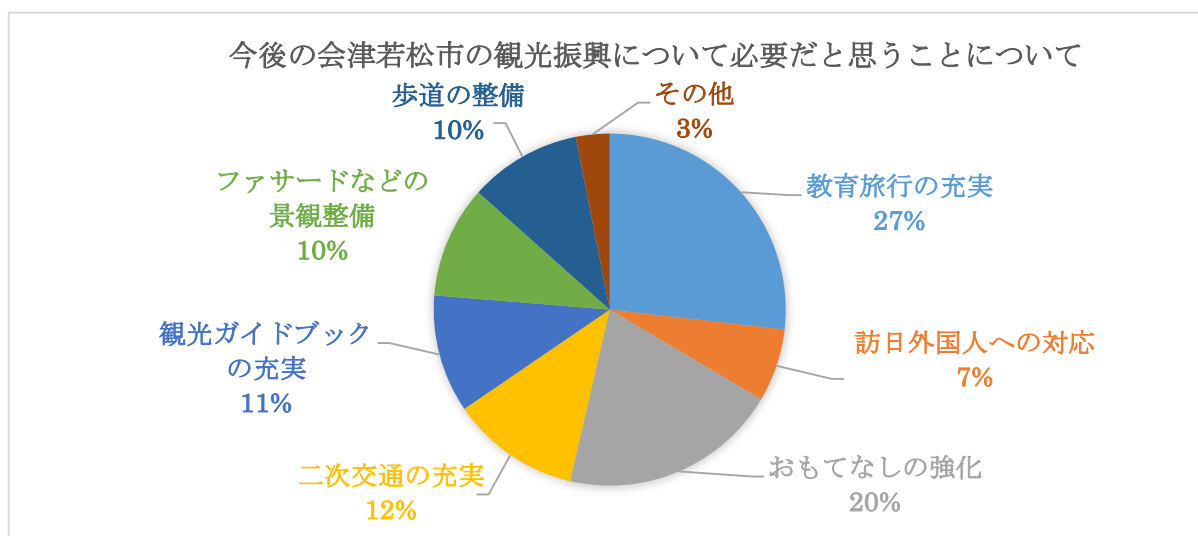
### ⑧今後の会津若松市の観光振興について必要だと思うこと（複数回答）

教育旅行の充実 52 件 (27%) おもてなしの強化 39 件 (20%)

二次交通の充実 23 件 (12%) 観光ガイドブックの充実 21 件 (11%)

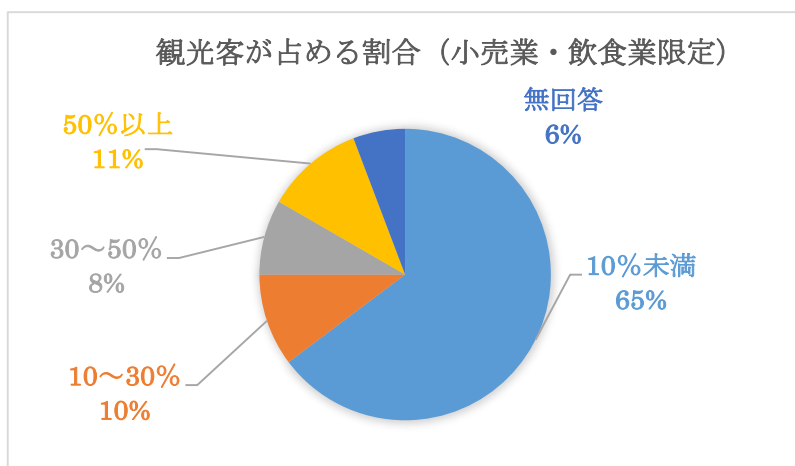
ファサードなどの景観整備 20 件 (10%) 歩道の整備 20 件 (10%)

訪日外国人への対応 13 件 (7%)



#### ⑨観光客が占める割合（小売業・飲食業限定）

10%未満 101 件（65%） 50%以上 17 件（11%） 10～30%16 件（10%）  
30～50%13 件（8%）



#### (4)県観光地実態調査アンケート

県が実施した「県観光地実態調査」のアンケート結果、回答エリアは本市を含め会津地方  
〈調査概要〉

調査方法：会津を訪れた旅行者を対象に調査

冬期…平成 26 年 2 月中旬～3 月 16 日 回収票数 960

春期…4 月 26 日～6 月 26 日 回収票数 2,762

夏期…8 月 28 日～9 月 28 日 回収票数 1,189

秋期…10 月 20 日～11 月 30 日 回収票数 1,529 合計 6,440

※福島県内の観光客が多いと想定される主要な施設、調査対象施設を利用されたお客様、宿泊施設 33 軒（留置調査）、観光施設 13 軒（聞き取り調査）（うち、会津は宿泊施設 11、観光施設 4）

##### 〈来訪回数〉

- 各期とも「初めて」が 10%台、半数以上が「5 回目以上」のリピーターである。  
特に冬期は「5 回目以上」が 58.6%と高い。

##### 〈旅行目的〉

- 「自然・風景」、「温泉」、「食」が三大目的となっている。「自然・風景」は秋期が 72.0%で最も高く、「温泉」は各期とも 50%台、「食」は冬期を除いて 50%前後である。

##### 〈同行者〉

- 各期とも「2 人」が 50%前後で最も高い。夏期は「5 人以上」の割合が 19.44%で他期に比べて高い。同行者は「夫婦」が各期とも 30%台で最も高い。

##### 〈参考にした情報源〉

- 「インターネット」、「家族・友人の勧め（口コミ）」、「ガイドブック」の割合が高い。「インターネット」は冬期、夏期が 30%台、「家族・友人の勧め（口コミ）」は春期、秋期で 30%前後、「ガイドブック」は春期、夏期、秋期で 20%前後である。

## 〈満足度〉

- 観光地としての満足度は、「大変満足」、「満足」、「やや満足」を加えた良い評価は、春夏秋冬の各期とも90%前後と高い。
- 食事は各期とも良い評価が80%台と高い。
- おもてなしは、各期とも良い評価が90%前後と高く、冬期は「大変満足」が24.6%と高い。
- 情報案内は、各期とも良い評価が60%前後、「どちらでもない」が25%前後である。
- 1年以内の再来訪の意向は、各期とも「大変そう思う」が30%前後であり、再来訪の意向があるのは90%と高い。

## (5)第2次観光振興計画見直しに関するアンケート

市政モニター（市政に関心のある人で、市内に在住・通勤・通学する満18歳以上の人）

〈調査概要〉

調査日：平成28年1月

回答数：21名

調査方法：第3次観光振興計画策定に伴う本市観光に関する調査

### ①本市は観光都市を目指すべきでしょうか。

目指すべき20人（95%）

意見…観光というだけでなく、さらに会津若松市に住んでみたいと思わせる取組が必要

目指すべきではない1人（5%）

意見…観光以外にも力を入れるべき

### ②本市は『観光振興条例』・『観光振興計画』を制定していることをご存知ですか。

知っている5人（24%） 知らない16人（76%）

### ③本市の観光の魅力（他の観光地と比較して優れている点など）は何でしょうか。

自然6人（29%） 歴史19人（90%） 季節3人（14%） 温泉6人（29%）

文化3人（14%） 食7人（33%） まちなみ2人（10%） 産業2（10%）

まつり3人（14%） 史跡9人（43%） 神社仏閣0人（0%） 観光施設2（10%）

交通機関0人（0%） 方言1人（5%）

その他1人（5%）…人そのもの。会津若松市の観光と言っても日本全国の観光地と比較した時に、特段ぜひ行ってみたいという目玉になるものはない。しかし、八重の桜がヒットしたように会津の人々の生き方や考え方をもちと魅力としてアピールしたほうが良い。

### ④本市の弱い点（他の観光地と比較して）は何でしょうか。

自然2人（10%） 歴史3人（14%） 季節1人（5%） 温泉3人（14%）

文化2人（10%） 食5人（24%） まちなみ10人（48%） 産業5（24%）

まつり3人（14%） 史跡1人（5%） 神社仏閣2人（10%） 観光施設2（10%）

交通機関9人（43%） 方言1人（5%）

その他4人（19%）…映画館やショッピングモールがほとんどない

・おもてなしの精神 ・寒く、山奥にある

・宣伝の仕方が下手である。ごく普通の観光地がいかにもオリジナルティあふれるアイデアを出して他の観光地よりも行ってみたいと思わせる趣向が必要である。また、リーピートさせる工夫が必要。

⑤本市の魅力ある季節はいつでしょうか。

春 8 人 (38%) 夏 1 人 (5%) 秋 4 人 (19%) 冬 2 人 (10%) 一年を通して 6 人 (29%)  
その他 0 人 (0%)

⑥本市では市民一人ひとりが観光ガイドであるという意識を高め、心のこもったおもてなしに努めるために『市民総ガイド運動』に取り組んでいることをご存知ですか。

知っている 5 人 (24%) 知らない 16 人 (76%)

⑦観光客の方々にお奨めしたい本市の魅力的な観光資源は何でしょうか。

鶴ヶ城 9 人 (43%) 飯盛山 8 人 (38%) 武家屋敷 2 人 (10%) 白虎隊 2 人 (10%)  
温泉 2 人 (10%) 自然 2 人 (10%)

その他…戊辰戦争、會津十楽、歴史、七日町通り、日新館、ソースカツ丼、郷土料理、会津まつり、酒、水、わからない、幕末に関連した場所、歴史を知ることができる墓や歴史館等、何度も訪れることによって味わえる風土、雰囲気、豊かな自然、伝統文化と歴史、“おもてなし”の心

⑧本市では「国際観光の推進」を事業計画に位置づけて取組に努めています。本市が多くの外国人観光客を受入れるために今後整備すべきものは何でしょうか。

多言語（英語などのパンフレット） 10 人 (48%)

Wi-Fi（インターネットによる環境整備） 11 人 (52%)

多言語の案内標識 6 人 (29%) お店などの多言語メニュー 3 人 (14%)

観光施設や史跡などの多言語の説明案内板 6 人 (29%)

会津若松市の魅力ある映像 5 人 (24%) 外国人観光客対象の案内所 8 人 (38%)

外国人観光客対象の観光ガイド 8 人 (38%)

その他 3 人 (14%) …民泊などを活用し、外交人が気軽に会津の家に泊まって会津の人と触れ合う機会を多くとること ・開国の精神 ・泊まり易い宿泊施設のリフォーム促進。京都町家のようにアットホームな宿泊施設を造る。

⑨今後 10 年間の中長期的な視点で、本市が魅力ある観光地を目指すために、何に力を入れるべきだと思いますか。

自然 3 人 (14%) 歴史 6 人 (29%) 季節 1 人 (5%) 温泉 1 人 (5%)

文化 5 人 (24%) 食 3 人 (14%) まちなみ 7 人 (33%) 産業 4 人 (19%)

まつり 2 人 (10%) 史跡 3 人 (14%) 神社仏閣 0 人 (0%) 観光施設 10 (48%)

交通機関 8 人 (38%) 方言 0 人 (0%)

その他 2 人 (10%) …映画館やショッピングモールなどの娯楽施設 ・人づくり、宣伝の工夫

⑩その他、本市観光に関する意見、感想などがありましたらご記入ください。

・会津若松駅周辺をもっと魅力のあるものになってほしい

・知恵、行動、発信、目線を元にイベント発信者が結束し行動しないといけないのではないかな。

また地域興しが主題だということを発信者は数字と併に管理能力を持っている人材を採用することなのではないかな？

・観光施設の整備

・わくわくするような、また来たいと思えるようなまちなみ、対応・接客、建物があるとリピーターが増えるのではないかな



- ・観光振興条例や観光振興計画を制定しているとのことですが、市民一般の人は知っているでしょうか。私も知らない。どこで周知しているのか教えて欲しい。
- ・文化を観光化させると文化崩壊を招くと聞いたことがある
- ・正直、会津若松市の観光と言っても日本全国の観光地と比較した時に、特段ぜひ行ってみたいという目玉になるものはない。しかし、八重の桜がヒットしたように宣伝の仕方によって魅力ある町にもなることができる。会津若松市に住んでいて良いと思われることはある。しかし、それが観光の目玉になるかと言うとそうではないと思う。あまり大きな行事や施設に観光の意味を持たせるのではなく、今あるものの価値をもっと高めていき多くの人の目に留まるような趣向があれば自然に人は増えていくと思う。ぜひ効果ある宣伝の仕方を考えて欲しいと思う。
- ・持っている観光資源は優秀だと思う。何かを世界遺産する動きが欲しい。
- ・新幹線を会津につなげてほしい。郡山からの片道1時間は不便です。空港も遠いです。空き家を町家やカフェにすることで雇用が生まれ、町・地域が活性化します。まちなかアートプロジェクトを行う。(酒が評価されているので土台となる。米や水をモチーフとして) →会津の伝統工芸や酒などに付加価値をつけた商業施設をつくる ex. 直島 (アートプロジェクトアーカイブ)
- ・外の目、若人の目を取り入れた観光都市づくりが重要です。すでに考慮した対策が進められていることと思いますが、常にその姿勢で進めて欲しいと思います。かつ、住民目線の生活環境の整備も併せて行うことが是非必要です。

## (6) 県内出身の学生に対するアンケート

福島県立テクノアカデミー会津学生 (県内出身者)

〈調査概要〉

調査日：平成28年2月～3月

回答数：22名

調査方法：福島県立テクノアカデミーの観光を専攻している学生に対して本市観光の振興に関するアンケート調査を実施

### ① 会津若松市は観光地として魅力的ですか。

魅力的 18人 (82%) 魅力的ではない 4人 (18%) …どちらともいえないが、まちなみなど改善するところがたくさんある。城だけでなく、城下町の感や人が来やすい観光づくりをしたほうがいい。

・あまり変化がない ・鶴ヶ城以外魅力的な (認知度の高い) 観光地が少ない ・観光名所は多くあるが、市内全体が活気づけていない雰囲気がある。

### ② 本市の観光の魅力 (他の観光地と比較して優れている点など) は何でしょうか。

自然 5人 (23%) 歴史 21人 (95%) 季節 8人 (36%) 温泉 4人 (18%)

文化 1人 (5%) 食 9人 (41%) まちなみ 5人 (23%) 産業 0 (0%)

まつり 2人 (9%) 史跡 6人 (27%) 神社仏閣 2人 (9%) 観光施設 2 (9%)

交通機関 0人 (0%) 方言 4人 (18%) その他 0人 (0%)

③本市の弱い点（他の観光地と比較して）は何でしょうか。

自然 2 人 (9%) 歴史 1 人 (5%) 季節 0 人 (0%) 温泉 2 人 (9%)  
文化 2 人 (9%) 食 4 人 (18%) まちなみ 9 人 (41%) 産業 6 (27%)  
まつり 4 人 (18%) 史跡 0 人 (0%) 神社仏閣 1 人 (5%) 観光施設 6 (27%)  
交通機関 18 人 (82%) 方言 0 人 (0%)

その他 3 人 (14%) …車で観光施設へ向かうとき、目標となる看板が小さい。

- ・雪道が怖い。新幹線がない。道がわかりづらい。走りづらい。
- ・お土産、ショッピング施設。食べ歩きできるグルメ店。

④本市の魅力ある季節はいつでしょうか。

春 9 人 (41%) 夏 0 人 (0%) 秋 2 人 (9%) 冬 5 人 (23%) 一年を通して 6 人 (27%)  
その他 0 人 (0%)

⑤観光客の方々にお奨めしたい本市の魅力的な観光資源は何でしょうか。

鶴ヶ城 15 人 (68%) 七日町 9 人 (41%) 飯盛山 7 人 (32%) 日新館 3 人 (14%) 武  
家屋敷 2 人 (9%) 御薬園 2 人 (9%) 白虎隊の歴史 2 人 (9%) 郷土料理 3 人 (14%)  
籠太 2 人 (9%) 太郎庵 2 人 (9%) ラーメン 3 人 (14%) 喫茶店など 3 人 (14%) 末  
廣酒造 1 人 (5%) 野口英世 1 人 (5%) 体験型の観光施設 1 人 (5%) 絵ろうそく 1 人  
(5%) 山並み 1 人 (5%) ララちゃんランドセル 1 人 (5%)

⑥本市では「国際観光の推進」を事業計画に位置づけて取組に努めています。本市が多くの外国人観光客を受入れるために今後整備すべきものは何でしょうか。

多言語（英語などのパンフレット） 9 人 (41%)  
Wi-Fi（インターネットによる環境整備） 14 人 (64%)  
多言語の案内標識 3 人 (14%) お店などの多言語メニュー 8 人 (36%)  
観光施設や史跡などの多言語の説明案内板 2 人 (9%)  
会津若松市の魅力ある映像 1 人 (5%) 外国人観光客対象の案内所 8 人 (36%)  
外国人観光客対象の観光ガイド 8 人 (36%)  
その他 5 人 (23%) …住民の外国人に対する対応、なれること（語学の勉強）  
・全部力を入れるべき ・会津の風情 ・英語教育の定着 ・アニメ

⑨今後 10 年間の中長期的な視点で、本市が魅力ある観光地を目指すために、何に力を入れるべきだと思われますか。

自然 0 人 (0%) 歴史 4 人 (18%) 季節 0 人 (0%) 温泉 4 人 (18%)  
文化 1 人 (5%) 食 5 人 (23%) まちなみ 14 人 (64%) 産業 2 人 (9%)  
まつり 4 人 (18%) 史跡 0 人 (0%) 神社仏閣 0 人 (0%) 観光施設 8 人 (36%)  
交通機関 15 人 (68%) 方言 1 人 (5%)  
その他 1 人 (5%) …情報技術の導入

⑩その他、本市観光に関する意見、感想などがありましたらご記入ください。

・運転が荒いし、マナーが悪い。突然の進路変更やめてほしいし、ウィンカー出して曲がってほしい。優先道路でもおかまいなしに曲がるのをやめてほしい。教習所でしっかり教わっているのか気になるし、もう一回通った方がいいと思う。地元ではない人は、そういうところしっかり見ていますからね。

- ・会津若松駅周辺に観光客が楽しめるお店やお土産店がある方が良い。パツとしなさすぎる。歴史の部分でPRしている割に景観の整備が中途半端だと思う。
- ・歴史があるのにまちなみがそれを感じられない。
- ・4,8でも記入した通り、一番はまちなみの整備が必要なのではないかと思いました。会津若松市には鶴ヶ城というお城があって、城下町です。だけど城下町を感じさせる所が七日町しかないなので、整備していく必要があると思いました。あと、鶴ヶ城内にふさわしくないホテルが近くにあるというのはどうなのでしょう？
- ・鶴ヶ城や飯盛山などは定番すぎて1回来たら満足してしまい、リピーターにはつながらないと思う。ですので、会津に来たら絶対ここに行きたいというお店が欲しい。また、お土産なども増えて来たのでオススメ商品とは別なものを買ってしまふ人が多いと思う。交通も1時間に1本だといろいろな施設を周ることが出来ない。電車から見る景色はすごく新鮮なので見てほしい。
- ・会津若松市だと鶴ヶ城などをメインに出しているが、知名度はまだまだ低いと思うし、今度それだけでは観光客の誘客にはつながらないと思う。城下町で出していくなら町並みの改善をしていくべきだと思う。観光施設にある店も。
- ・とにかくアクセスが悪い点が痛い。郡山から乗り継ぎで来なければならず、新幹線を用いて観光地へ行くお客様は福島を通り過ぎて仙台、もしくは盛岡、東京へ行ってしまふように思う。外国人観光客への対応も様々行っていく必要がある。現在地がわかる市街MAPの看板が少ないかもしれない。
- ・外国人観光客を受入れる考えであるならば、まずは、交通機関をよくしていくのが一番だと考えます。ほかの交通機関の待ち時間が短くなれば、外国人が道を間違ってしまったとしても、すぐに戻ることが出来るようになるかもしれませんし、観光地をめぐる時間も増えて、より多くの観光地を訪れてくれると考えます。
- ・まちなみは神明通りの屋根がなくなったことによって雰囲気はすごく良くなったと思いました。活気が出ました。まつりは雪を使ったものをやって欲しい。例えば、大内宿の雪と花火や鶴ヶ城と雪と何かなど。
- ・観光客が何回も来てもらえる様な観光産業などの取組が必要だと思います。最近海外からの観光客が多く来ているので、英語表示の看板の設置や音声ガイドが必要です。最近アジアからの観光客も多いので、中国語などの表記やガイドが必要です。食の面が会津若松はあまり知られていないと思うので、全国にもっとPRすべきです。特に既存の物をもっと広げて欲しいです。
- ・一番弱いのは交通機関です。理由として他県や外国の人が観光に訪れたとしてもバスや電車の力が弱く、不便です。また、観光名所一つ一つ離れて入る為、もう少し交通機関が改良されれば他県の方がたくさん来てくれると思います。最近、外国の方が多く訪れているのをバイトをしているときに見かけます。外国人にも対応できるような取組もあれば良いと思います。
- ・B級グルメなどが手軽に食べ歩きできる店が欲しい。お店やショッピング施設が欲しい。季節ごとなどに観光地に変化。
- ・交通整備が必要
- ・遊べる場所を増やす
- ・電車の本数増加、新幹線
- ・白虎隊がどれだけ素敵かもっと日本の方知ってもらふべきだと思う。
- ・Suicaを使えるようにする
- ・交通機関が整備されていない(信号、道路の幅 etc・・・)

- ・ 娯楽施設が充実されていない・ファストフード店が少ない
- ・ 武家屋敷の整備。歴史を知るのに良い場所だと思うけど、人形の服が色褪せているし、建物が汚れているので残念。
- ・ 外国人の方が増えてきているので、外国人向けの対応をたくさんしたほうがいいと思う。
- ・ 食に力を入れて欲しい。ソースカツ丼、わっぱ飯以外にも有名な料理を出して欲しい。

## (7)会津観光応援隊に対するアンケート

会津観光応援隊（主に首都圏在住の方）

〈調査概要〉

調査日：平成 28 年 5 月～6 月

回答数：84 名

調査方法：跡見学園女子大学の生徒にご協力いただき、主に首都圏在住の会津観光応援隊に対して本市観光振興に関するアンケート調査を実施

### ①性別

男性 6 人（7%） 女性 78 人（93%）

### ②年齢

19 歳以下 75 人（89%） 20 歳代 6 人（7%） 30 歳代 0 人（0%） 40 歳代 1 人（1%）  
50 歳代 1 人（1%） 60 歳以上 1 名（1%）

### ③出身地域

北海道 0 人（0%） 東北 7 人（8%） 関東 71 人（85%） 中部・北陸 2 人（2%）  
近畿 1 人（1%） 中国・四国 0 人（0%） 九州・沖縄 1 人（1%） その他 0 名（0%）  
記載なし 2 人（2%）

### ④訪問する観光地を選ぶ際に重視する点はなんですか。

観光資源 78 人（93%） 温泉 23 人（27%） 移動時間 17 人（20%） 交通費 39 人（46%）  
公共交通機関 25 人（30%） 駐車場 5 人（6%） トイレ・休憩施設 13 人（15%）  
観光地の清潔感 21 人（25%） 宿泊施設 34 人（40%） 飲食店 39 人（46%）  
土産物・特産品 34 人（40%） おもてなし 22 人（26%） 人気・評判 40 人（48%）  
その他 1 人（1%）…鉄道の魅力

### ⑤観光レジャーに出かける場合、どのような情報をもとに行き先を決めますか。

テレビ 49 人（58%） ラジオ 1 人（1%） 行き先の自治体のホームページ 28 人（33%）  
その他のホームページ 27 人（32%） 新聞 1 人（1%） タウン誌・フリーペーパー 15 人（18%）  
行き先の自治体の広報誌 1 人（1%） ガイドブック（地元誌以外） 39 人（46%）  
ガイドブック（地元誌） 23 人（27%） 駅などに設置してあるチラシやポスター 14 人（17%）  
口コミ（知人等からの情報） 24 人（29%） その他 3 人（4%）…時刻表・地図 ・SNS  
・ご当地グルメ情報 ・ニッチな着地型で地域の生活文化を楽しめるサプライズを期待しています。

### ⑥会津若松市をご旅行で訪れたことがありますか。

ある 35 人（42%） ない 46 人（55%） 回答なし 3 人（4%）

### ⑦会津若松市を何回訪れたことがありますか。

1 回 16 人（19%） 2 回 7 人（8%） 3 回 3 人（4%） 4 回以上 9 人（11%）

⑧どなたといらっしゃいましたか。

一人2人(2%) 友人等11人(13%) (同行者平均3.75人)  
家族11人(13%) (同行者平均5.4人) 社内・修学旅行21人(25%)

⑨会津若松市内で宿泊されましたか。

1泊22人(26%) 2泊7人(26%) 3泊以上4人(5%) 日帰り2人(2%)

⑩会津若松市内で、旅行費用は一人あたりどのくらいかかりましたか。

団体旅行、ツアー、パック旅行の方13人(15%) 一人当たり料金の平均25,625円  
それ以外の方10人(12%)  
合計宿泊費の平均24,000円 土産品の平均5,583円 飲食費の平均4,666円  
その他の平均額2,000円 合計の平均25,800円

⑪会津若松観光はご満足いただけましたか。

満足17人(20%) やや満足14人(17%) 普通3人(4%) やや不満0人(0%)  
不満0人(0%)

⑫ご満足いただいた観光スポット・商品など、ベスト3をご記入ください。

鶴ヶ城13人(15%) 飯盛山4人(5%) 日新館3人(4%) 武家屋敷3人 七日町3人  
あかべこ絵付3人 喜多方ラーメン3人 五色沼2人(2%) あげまんじゅう2人  
ソースカツ丼2人 ままどおる2人

その他…会津村、猪苗代湖、大内宿、日本酒、みそカツ、菊人形、ゆべし、御薬園、抹茶と  
お菓子、赤べこのきんちゃくに入ったアメ 会津漆器、ラーメン、アイスクリーム、あかべこ、  
赤べこのキーホルダー、赤べこのポケットティッシュ、町並み整備、教育体験メニューの充  
実、 親切的な市民

⑬本市の観光の魅力(他の観光地と比較して優れている点、イメージなど)は何でしょうか。

自然46人(55%) 歴史38人(45%) 季節5人(6%) 温泉10人(12%)  
文化22人(26%) 食27人(32%) まちなみ19人(23%) 産業4(5%)  
まつり3人(4%) 史跡14人(17%) 神社仏閣5人(6%) 観光施設7人(8%)  
交通機関3人(4%) 方言8人(10%) 分からない8人(10%)  
その他1人(1%) …お酒

⑭本市の観光の弱い点(他の観光地と比較して劣っている点、イメージなど)は何でしょうか。

自然2人(2%) 歴史2人(2%) 季節2人(2%) 温泉10人(12%) 文化1人(1%)  
食2人(2%) まちなみ1人(1%) 産業5(6%) まつり4人(5%) 史跡1人(1%)  
神社仏閣3人(4%) 観光施設13人(15%) 交通機関28人(33%) 方言3人(4%)  
分からない36人(43%) その他0人(0%)

⑮会津若松市の魅力ある季節はいつでしょうか。

春11人(13%) 夏18人(21%) 秋10人(12%) 冬11人(13%)  
一年を通して31人(37%) その他1人(1%)

⑯お友達やご家族等にお奨めしたい会津若松市の魅力的な観光資源は何でしょうか。

鶴ヶ城7人(7%) 食べ物5人 歴史4人(5%) 赤べこ4人 飯盛山3人(4%)  
まちなみ3人 白虎隊2人(2%) 大内宿2人 特産品2人  
その他…日新館、絵ろうそく、元祖ソースかつ丼、温泉、文化、自然、お酒、酒蔵、飲酒店、  
建築物、背あぶり山、七日町通り、静かなところ、五色沼、雰囲気

- ・会津藩の伝統文化が人々の中に脈々と今も活きていること。
- ・趣のある施設やお祭りを四季折々楽しめる ・まだ行ったことないので行ってみたい
- ・会津の生活文化体験（歴史にまつわる食文化等）
- ・かわいいバスを使って、御薬園や武家屋敷、会津城をめぐるのはとても楽しいし、リフレッシュできます。時間がゆったりと流れる感じがします。

⑰本市では「国際観光の推進」を事業計画に位置づけて取組に努めています。本市が多くの外国人観光客を受入れるために今後整備すべきものは何でしょうか。

多言語（英語などのパンフレット）45人（54%）

Wi-Fi（インターネットによる環境整備）57人（68%）

多言語の案内標識 26人（31%） お店などの多言語メニュー 22人（26%）

観光施設や史跡などの多言語の説明案内板 14人（17%）

会津若松市の魅力ある映像 13人（15%） 外国人観光客対象の案内所 21人（25%）

外国人観光客対象の観光ガイド 17人（20%） その他 1人（1%）…宣伝

⑱今後 10 年間の中長期的な視点で、本市が魅力ある観光地を目指すために、何に力を入れるべきだと思いますか。

自然 17人（20%） 歴史 13人（15%） 季節 9人（11%） 温泉 16人（19%）

文化 20人（24%） 食 35人（42%） まちなみ 16人（19%） 産業 3人（4%）

まつり 13人（15%） 史跡 5人（6%） 神社仏閣 1人（1%） 観光施設 24人（29%）

交通機関 18人（21%） 方言 4人（5%） 分からない 2人（2%）

その他 1人（1%）…きれいなトイレ

⑲本市が魅力ある観光地となるために、意見、提言などがありましたらご記入ください。

・会津は自然が豊かだと聞いた。そこを全面的に押ししてほしい。

・もっと食文化が知りたいので物産店を駅前でやると嬉しい

・地元のをアピールする ・きれいなトイレ

・Wi-Fi 含め外国人観光客に優しい環境整備には是非注力頂けたらと思います。

・赤べえや八重たんなどのゆるキャラを活用できたら良いと思います。

・全国の市町村と比較しても会津若松市の観光課はレベルの高い取組を行っている。東日本大震災から 5 年を経過した今、インバウンド観光客を含めて東北全体の観光をもとに戻す起爆地として会津には大いに期待している。私も全力で支援します。

・私は以前からテレビ朝日で放送された白虎隊やNHK 大河ドラマ「八重の桜」を観ていたので会津若松市は大学に入学する以前から存じ上げており、一度訪れたときはまるで自分がタイムスリップしたかのようにとてもうれしかったですし、歴史を感じました。今や歴史が好きな日本人や外国人は沢山いらっしゃると思います。会津若松市で戦われた斉藤一を始め、有名な方や白虎隊を広めていくことで更に白虎隊のゆるキャラやグッズなど、メディアに注目されるような日本の歴史を感じる観光資源を新たに作ることも大切であると感じています。

・町の方々がお元気で、優しいところが素敵だと思います。観光客が増えることで、町の清潔感を保つことが難しくなる場合があります。これからも美しく、自然豊かで文化的な町並み観光の場として会津の町を広げていってください。

・まちなかがもっと活気あふれていたら観光客も集まりやすくなると感じました。

・七日町通りをもう少し活気づけたらいいと思います。

## 2 市民・観光関係者の声

市民や観光関係者等との意見交換会、懇談会等で、いただいたご意見を整理し、掲載いたしました。

○ご意見をいただいた方々

あいつ創生市民会議しごと部会委員、会津若松観光ビューロー（各理事、委員会）、会津若松商工会議所（観光、旅客運送部会）、温泉観光協会役員、会津まつり協会理事、会津若松観光ルネッサンス協議会、国立大学法人和歌山大学経済学部 教授 大澤健 氏、市職員、市民の方々。

第3次観光振興計画		意見・提案
地域資源を活用した観光振興		
歴史的・文化的な資源・資産の活用		
基本施策1	基本計画1	(1)若松城の魅力向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆鶴ヶ城・緑の整備大計画</li> <li>◆麟閣を含め城内の活用と見せ方の工夫</li> <li>◆鶴ヶ城とまちなか(例:福西本店の蔵等)を回遊させるためのセット券</li> <li>◆鉄門のデモ隊、開門、閉門パフォーマンス</li> <li>◆西出丸の復活、乗馬、場内での役割を作る</li> <li>◆甲冑姿を四季別対応 ◆石垣登り体験</li> <li>◆お城の近くにおかげ横丁みたいな集客できる施設</li> <li>◆お城周辺の街並み、景観の改善、お城を出て税務署は風情がない</li> <li>◆茶道文化「茶道の郷 会津」 千利休→小庵→宗旦から現在の茶道が確立されたが、その原点が会津にあることを周知する 表千家、裏千家、武者小路千家の家元の名誉市民任命 茶道から抹茶、和菓子、茶碗、花器などの普及促進(蒲生氏郷公時代の深みが増しそう)</li> <li>◆体験できる観光プランの充実(茶道体験)</li> <li>◆お茶を飲む際、ロケーションを活かしていない</li> </ul>
		(2)歴史的・文化的な資源の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆仏都会津</li> <li>◆サムライシティ、具体的な取り組みをする</li> <li>◆会津松平家墓所の聖域化、パワースポットとしての活用</li> <li>◆会津の華やかな文化を見せる ◆キリシタン文化(隠れキリシタン)</li> <li>◆蒲生氏郷公時代の南蛮文化 ◆商人文化</li> <li>◆市役所本庁舎の文化財としての外観整備 ◆阿弥陀寺の大仏再建</li> <li>◆嘉永蔵の文化の核としての活用 ◆芳賀商店・福西本店の蔵の活用</li> <li>◆興徳寺の蒲生氏郷公を打ち出した整備◆体験できる観光プランの充実(コスプレ体験)</li> </ul>
	(2)歴史的・文化的な資源の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆会津は演劇が盛んであり、能楽堂もあるし、劇団も多い 郡山市の「楽都」のように会津を「劇都」にしたい</li> </ul>	

基本 施策 1	基本 計画 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆個人所有の観光資源を維持するための補助金</li> <li>◆東山温泉で昭和 19 年に台東区の子供たちを中心に疎開児童、2,500 人の受入を行ったことがあり、そういった部分で誘客に結び付ける</li> </ul>
		(3)会津の食文化の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「食・酒」文化の振興 ◆飲食物名物化のサポート</li> <li>◆地元農産物と飲食店とのコラボ支援</li> </ul>
		(4)物産振興の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆体験できる観光プランの充実(伝統工芸体験)</li> <li>◆「温故知新」をキーワードにもものづくりの生産現場の価値の商材化</li> <li>◆それぞれの業界だけで取り組んでも広がりが無い 漆器・酒・陶器など業界の壁を越え、また、会津全域を巻き込むような振興策が必要</li> <li>◆絵ろうそく祭りに絵付け体験ブースの設営</li> </ul>
	自然資源等の活用		
	基本 計画 2	(1)猪苗代湖の保全と活用	
		(2)天然記念物などの自然資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆里山の整備</li> <li>◆開花の遅い八重桜などを増やし、GWまで桜を楽しんでもらう</li> </ul>
		(3)観光農業の推進	
		(4)スポーツツーリズムの推進	
		(5)ヘルスツーリズムの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆健康でエコなまち歩き(レンタサイクルの利用促進)、会津五街道ウォーキング、ブラタモリ的まち歩き</li> </ul>
	温泉地域の活性化		
基本 計画 3	(1)情緒あふれるまちなみの創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆品格ある温泉街の形成</li> <li>◆景観整備のための条例化(灯籠等)</li> <li>◆新店舗開店への支援制度化</li> <li>◆客室稼働率、客室の回転がどうだったかという視点</li> <li>◆入湯税の活用、増税して基金化する</li> <li>◆源泉の枯渇化に対する対策、行政で管理、集中管理方式</li> </ul>	
	(1)情緒あふれるまちなみの創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆廃墟対策で温泉地の価値を上げる、今のままでは選ばれない温泉地</li> <li>◆空家対策土砂災害特別警戒区域等の対策</li> <li>◆東山温泉旧道の渋滞緩和解消策として時間帯別一方通行化を進める</li> </ul>	
	(2)温泉地域の賑わい創出		
	(3)温泉地域の新たな活用		



基本 施策 1	まちなか観光の推進	
	基本 計画 4	<p>(1)まちなかの魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆市民参加の観光都市づくり(ふれあいを大切にする)</li> <li>◆地域インフラ整備やまちおこし活性化事業などに観光的な要素を組み合わせ、「視察観光」を派生させる</li> <li>◆まちなみ景観、村落の風景、路地裏の魅力を伝える</li> <li>◆文化主導型のまちなか観光を目指す</li> <li>◆廃墟を撤去し、公開空地か緑化する</li> <li>◆手入れされていない建物の装飾化推進 ◆七日町通り～野口青春通り～追手町通りから鶴ヶ城まで散策できるエリアとして重点整備化</li> <li>◆「名所そのものの魅力」だけに頼らず地域住民が憩いでいる姿や生活が見える、安心して歩ける、会話に入り理解を深めることの出来る工夫作り、場所作り</li> <li>◆一軒に一本絵ろうそく運動、一戸一灯運動も併せて</li> <li>◆地域の観光施設にプランターなどを設置</li> <li>◆歴史が香り、文化が息づく城下町としてのまちなみ形成</li> <li>◆行政主導で街並み形成プロジェクトの立上げ</li> </ul>
		<p>(2)まちなかの回遊性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆市民の自動車利用等の縮減を図り公共交通機関の利用促進 (郊外への大型駐車場整備、まち歩きクーポンなどの付加価値をつける)</li> <li>◆フリーライド方式の採用</li> <li>◆融雪設備の拡大等による融雪道路化</li> <li>◆まちなか周遊バスの運行間隔の短縮、運行時間帯の拡大での充実</li> <li>◆まちなか周遊バスの移動をスムーズ、定時に運行させる情報通信、信号システムを導入する</li> <li>◆まちなか回遊のための2次交通の検証(周遊バス無料化・観光客への特典・モデルコース造成等)</li> <li>◆2次交通での電子マネー導入 ◆宿泊施設でのフリー乗車券発行</li> <li>◆観光ルート作りに地域の声を取り入れる(エージェン任せにしない)</li> </ul>
	産業観光の推進	
基本 計画 5	<p>(1)産業産業等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆会津の先端産業の観光活用</li> <li>◆豊田自動織機(会津木綿工場で使用)や水力発電等、明治以降の産業の観光素材化</li> <li>◆達人、名工の人的資源の活用</li> </ul>	
	<p>(2)再生可能エネルギーや先端技術産業施設の活用</p>	

基本施策1	賑わいの創出		
	基本計画6	(1)「まつり」の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆日本一の線香花火大会の開催インターネットでの中継</li> <li>◆会津まつり(藩公行列)は、昼間に終わる、宿泊に結びつくよう夜間の催しを行う</li> <li>◆イベント、民間で協力している者は思い入れをもって取り組んでいる、行政は組織の変更や予算の有無で対応に一貫性がない、変更される場合は関係者への事業説明をするべき</li> <li>◆オーストラリアやタイのお客様は夜のイベントが必須</li> <li>◆若い感性で会津まつりを見直し、歴史と伝統に則り守るべきものは守る</li> <li>◆賑わいを作るには、地域のつながりが大切である 身近なものを大切に する意識が必要</li> <li>◆秋まつり等、住民が楽しんで参加している祭りは見に行きたくなる</li> <li>◆区長会の懇談会などで祭りを盛り上げるための説明をする</li> </ul>
		(2)冬季の賑わい創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆冬期間の賑わいがまったくない 雪を嫌わず、利用する方法を考える</li> <li>◆冬期間に民俗(伝統)芸能を披露する場を設ける</li> <li>◆お城の本丸で雪合戦、昼と夜開催し、宿泊につなげる</li> <li>◆冬期間のイベントをロングランで実施、誘客のきっかけになる</li> </ul>
		(3)伝統行事、伝統芸能等の発信	◆地域のまつりが後継者不足でなくなっている 地域で楽しめるまつりを復活させる ◆行政からお日市の支援、補助を行う
誘客宣伝の推進と受入体制の整備			
基本施策2	観光情報発信と誘客活動の推進		
	基本計画7	(1)効果的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆温泉女将や観光事業者の女性を前面に出したプロモーション</li> <li>◆障がい者に配慮したパンフレットの作成</li> </ul>
		(2)Web 等を活用した双方向型情報発信の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆バナーを掲載してもらったりして、ホームページに行き着くまでの方法を充実</li> <li>◆ツイッター・フェイスブック・YouTube・ブログなど、各個人のニーズにあった常時の情報発信、交流</li> <li>◆IT 係等の部署の設置</li> </ul>
		(3)誘客活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中高年向け禮「清酒金賞のまち」「会津・酒場放浪記ツアー」「白い蕎麦(更科家そば)黒い蕎麦(桜枝岐裁ちそば)そばうち体験ツアー」「山菜(きのこ)採りと温泉めぐり」</li> <li>◆架空の現代版会津藩を設立家臣としてファンを募集</li> <li>◆観光エージェント会社へ売り込み、外への発信を多くする</li> <li>◆女性は写真、イラスト、色、デザイン、男性は文章が良く伝わる</li> </ul>
		(4)フィルムコミッションの推進	

基本 施策 2	教育旅行誘致の推進		
	基本 計画 8	(1)効果的な誘致活動の推進	
		(2)受入体制の整備	◆食、伝統工芸、歴史の三つを目玉にし、マイスター育成(教育旅行・体験学習のコーチ育成、エージェント任せにしない)
	コンベンションの誘致		
	基本 計画 9	(1)コンベンションの誘致	◆県立武道館、コンベンション機能付きの誘致
		(2)受入体制の整備	
	観光案内機能と便益施設の充実		
	基本 計画 10	(1)道路案内の充実	◆まちなかのサインを充実させ安心な回遊性の向上 ◆道路標識まだまだ判りにくい、観光客視点での設置 ◆放射能安全認証マーク、検査済証のようなものステッカーの表示 ◆音声案内による情報伝達の充実、増設 ◆電線地中化 ◆障がい者に配慮した看板の設置 ◆多すぎる信号機の撤去の推進
		(2)観光案内の充実	◆インバウンド対応通訳ができる観光案内所があることを住民が認知する
		(3)駐車スペースの提供	◆お城周辺で駐車場が不足している ◆アピオに駐車場を確保し、シャトルバスなどで街の中に来られる仕組み ◆お城の近くの駐車場に偏らないしくみづくり
		(4)観光トイレの充実	◆段差の解消、多目的トイレの設置
	観光客受入に関わる人材の育成と市民意識の高揚		
	基本 計画 11	(1)人材育成	◆商品化能力や販売促進能力など、プロモーション能力の高い人材の活用 ◆インターネットに精通しネット上で広告宣伝できる人材の育成 ◆教育プログラムの作成と検定制度の創設(「(仮)観光マイスター」認定)などで、スキルレベルの可視化を図る ◆地域別に笑顔すてき人を選んで、地域へ笑顔の種を蒔く、街中観光コンシェルジュガイド免許が受けられる ◆楽しくなる観光ガイドが必要(有料ガイドの仕事作り) ◆名所等の全体の流れが見られるリーダーが必要 ◆飯盛山の駐車場案内人の改革、制服を授与する
		(2)市民意識の高揚	◆「会津ものしり検定」の実施、市民ガイドの育成と向上 ◆おもてなしフラッグの掲出、DC おもてなし8ヶ条のアレンジ ◆会津の良さ(自然・食材など)を地元の人知らない 米・酒・自然どれも素晴らしい 地元の人とその素晴らしさを認識する ◆地域住民向け研修会やオリエンテーションを実施、参加の工夫 ◆市民総ガイド運動、4月にミス会津発表会などで意識の醸成

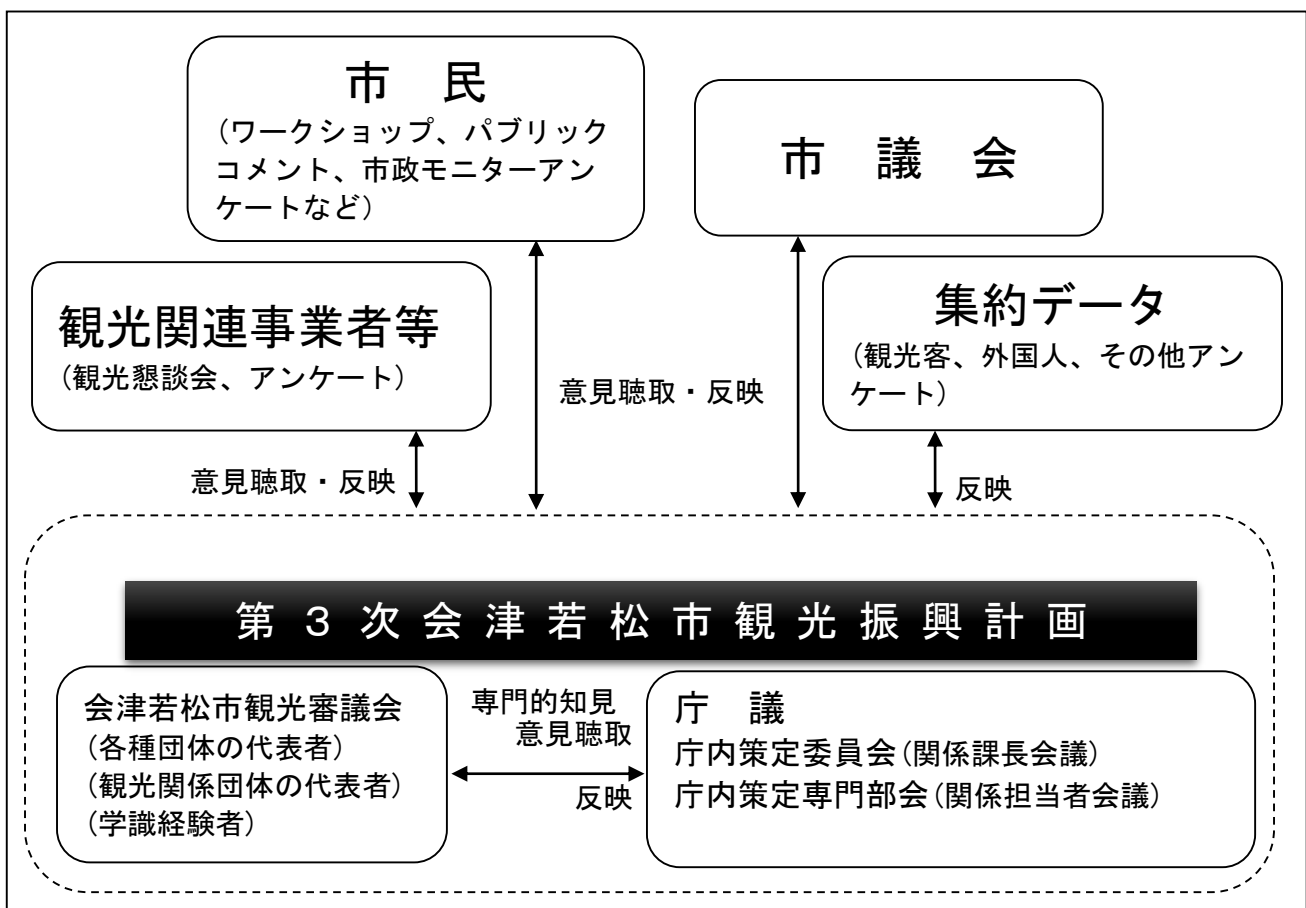
基本 施策 2			◆市民一人ひとりの観光ガイドの意識を高めるために、東山・神明通りの磐梯山踊りの参加、周知
	観光推進組織の連携		
	基本 計画 12	(1)観光推進組織の強化	◆DMO、観光推進体制をどうやって作っていくのか ◆観光ビューローがDMOの主体となって、観光の専門家、マーケッターの役割を果たす ◆観光関連産業の従事者が横の連携を強めるべき 互いに、意見を交換する場が少ない
広域観光・インバウンドの推進			
基本 施策 3	広域観光の推進		
	基本 計画 13	(1)広域的な連携による観光誘客	
		(2)滞在型観光の推進	◆滞在しないと損するような仕掛け
		(3)周遊型観光の推進	◆東武特急、会津まで誘客するためのPR
		(4)圏域を超えた広域連携の強化	
	インバウンドの推進		
	基本 計画 14	(1)受入体制の充実	◆東京五輪事前キャンプ地を考慮したバリアフリー化 ◆魅力的な民泊の推進(外国人観光客、ニッチなマニア向け) ◆両温泉による「(仮)訪日外国人誘客会議」の発足、受入意欲の醸成 ◆言葉の壁の対策、ホテルや店などにおける事例の情報共有 ◆Wi-Fiの整備 ◆日本人が来ないところに外国人は来ない ◆デジタルDMOを有効利用してインバウンド誘客に生かす
		(2)情報の発信	◆外国人観光客の視点での情報発信化 ◆外国人向け観光素材の精査、ターゲット別のPR方法の構築
		(3)効果的なプロモーションの展開	◆2020年東京五輪に向けた誘客活動 ◆ターゲットのエリアを絞った誘客対策(同じ国でも効果が出やすい地域もある) ◆外国人観光客の集客の数値目標化 ◆オーストラリアやタイのお客様は夜のイベントが必須 ◆欧米系とアジア系では観光の魅力感じる部分が違う、東南アジア系は団体旅行が5割以上、欧米系は着地型、アプローチの仕方を変えて ◆アメリカに対して戊辰戦争は南北戦争のようなものとして売り込む
	その他		◆短い期間の中で計画を実行したり、決めた計画を途中で変更したり、フレキシブルな仕組みづくり

<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ビッグデータの活用、観光流動人口の把握、観光消費額の統計的調査</li> <li>◆観光の計画を作る基となるデータ、数字を捉えていく、観光客のニーズや社会情勢変化を的確に把握するためのツールが必要</li> <li>◆目的を同じくする協議会や実行委員会の集約、スリム化</li> <li>◆「街なか図書館」の整備（寄附された書籍や書棚等）</li> <li>◆「会津偉人館」の整備</li> <li>◆他の都市との差別化</li> <li>◆ニッチ層（歴女・コスプレイヤー等）の呼び込み</li> <li>◆観光振興を考えると、今までとは方法が変化しており、観光振興手法の大きな転換が必要である 行政主導では、住民を上手く巻き込めず、ほとんどの場合失敗する</li> <li>◆行政は何をすればよいか聞かれるが、Jリーグ方式で考えればいい チームは民間であり、行政はプランニング、試合の機会や会場を準備する、情報提供する、そしてチームを競争させることである</li> <li>◆観光振興は「誰が」、「どうやって」するかが重要であり、住民や観光事業者が主体的な意欲と活動によって、イノベーションをおこしていくべき 業種をまたいだ横のつながりが増えると、地域のやる気が向上し、地域が元気になっていく</li> <li>◆「商品化」ができれば集客できるようにすることが必要で、ここは組織的なDMOがやるべきことである 集客はトライ＆エラーを繰り返し、知識を蓄積することが当てるコツだ</li> <li>◆地域の人やりたいことをやるべきだ 「みんなが正解だと思えることが正解」である</li> <li>◆行政には立ち位置をしっかりと検討し、やりたいことのある住民を応援していただきたい</li> <li>◆まちづくりは店づくりと共通している、売上を上げるには自信を持つこと、人の魅力で自分のファンを作ることが大事</li> <li>◆観光振興は『誰が』、『どうやって』するかが重要であり、住民や観光事業者が主体的な意欲と活動によって、イノベーションをおこしていくべき</li> <li>◆行政主体ではない計画を策定すべき</li> <li>◆会津若松市の魅力は「城・蔵・水（泉）」だと考えている 素材はあるのに活かしきれていない印象がある</li> <li>◆市内に多くの蔵があるが、情報の発信もなされておらず、もったいなく感じる</li> <li>◆個々の取組は一生懸命なされているとは思いますが、観光客のニーズに合致していないものが多いと感じる</li> <li>◆クレームの情報共有がなされていない どのような苦情でも吸い上げて、改善する仕組みがなければ、おもてなしにつながらない</li> <li>◆観光ルート一つ一つが物語りになってなければならない</li> </ul>
------------	--

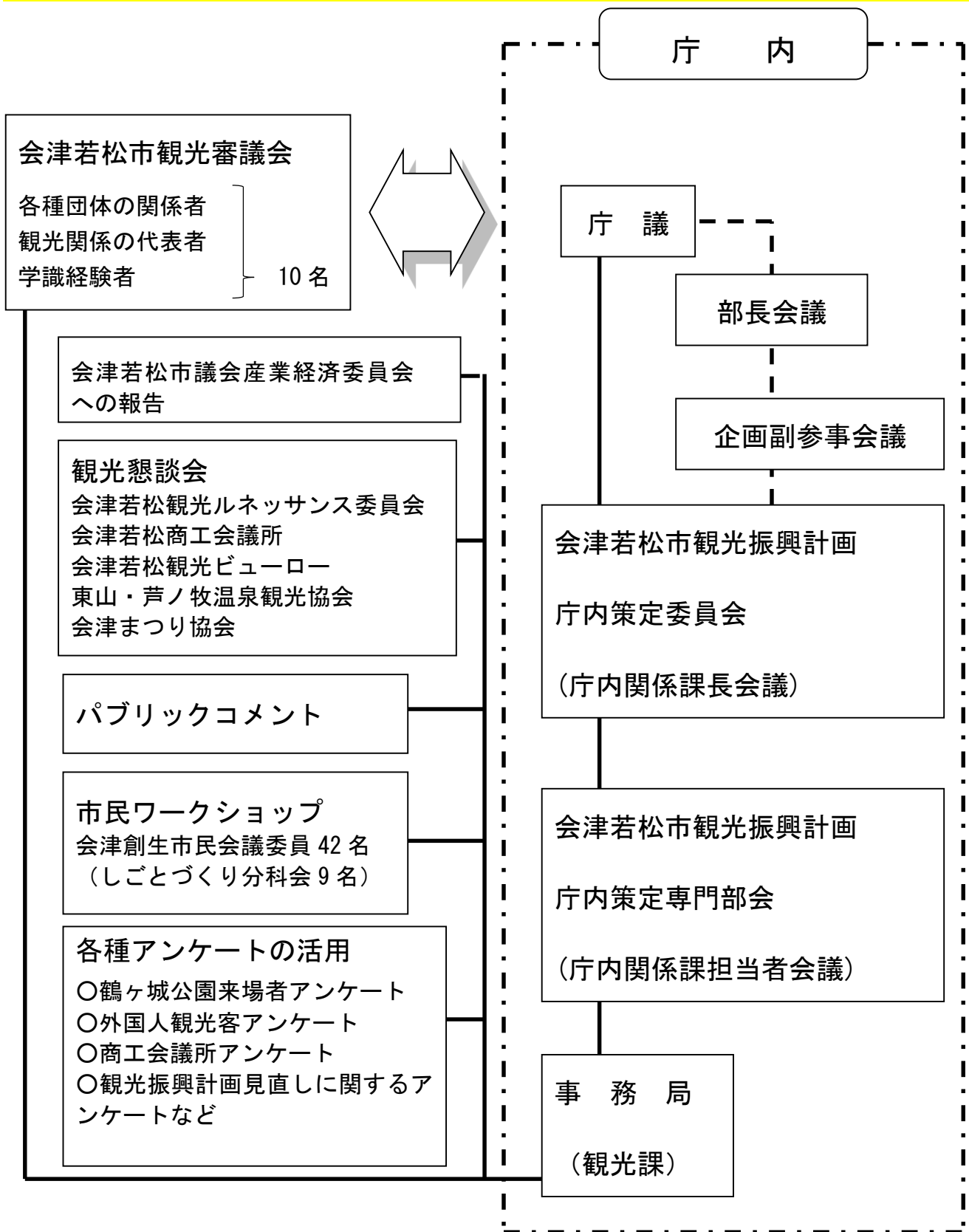
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆観光の受入れ態勢を整えるためには、単純化・標準化・差別化が必要である</li> <li>◆10年前の計画策定時の市民の声をみると意見があまり変わっていないやるべきことはわかっているのではないか</li> <li>◆事業者としての意見だが、県と市の連携不足を感じる 同じような内容の取組をそれぞれ提案してくるが、双方が調整の上、提示できないのだろうか</li> <li>◆旅行のスタイルは団体旅行から個人旅行に変わってきている 特にシニア世代はふるさと回帰願望を強く持っている 会津の良さを見てもらい、その良さに感動してもらえれば、リピーターとなり、何度でもきてもらえる</li> <li>◆地域の細かい所、音、光、匂い、味の再発見を目指す</li> <li>◆新しい観光コンテンツの創出</li> <li>◆夏の暑さを掘、水の流れを活用して緩和</li> <li>◆電子マネーの受入</li> <li>◆高級ホテル「ザ・リッツ・カールトン沖縄」ダイナミックパッケージで客増</li> <li>◆「間際予約」などに対応協会に変える</li> <li>◆白虎隊イラストなどを標識やプラントーに利用し街の中を飾る</li> <li>◆会津のイメージになって困るもの(アニメ)に、お金をかけてほしくない</li> <li>◆除雪対策</li> <li>◆冬期間の市内に入るマップづくり</li> <li>◆冬の観光、関係団体と連携</li> <li>◆高山の先進地事例を真似る、朝8時にはゴミが全部無くなる</li> <li>◆終の棲家という視点から活用、問題解決などを考える</li> <li>◆フランスの観光客誘客を手本にする</li> </ul>
------------	--

### 3 計画策定までの経過

年	月日	内容
27	4月～12月	観光客、各種観光団体等からのアンケートを実施
	5月～28年1月	長期総合計画策定ワークショップ(あいづ創生市民会議)
28	2月、3月、11月	庁内策定委員会(庁内関係課長会議)開催
	1月～3月	市民会議分科会、各種団体意見の聴取
	1月～5月	市政モニター、地元学生、首都圏在住者等へのアンケート
	6月20日	産業経済委員会協議会へ報告(計画の策定について)
	8月～9月	商工会議所、両温泉観光協会等、各種団体との意見交換会
	12月13日	庁議において第3次観光振興計画(素案)決定
	12月27日	産業経済委員会協議会へ報告(第3次観光振興計画(素案)について)
	29	1月6日～2月6日
1月19日		第1回観光審議会 諮問
2月10日		第2回観光審議会
2月15日		答申
3月		計画の策定
4月～		計画の公表、市民周知



## 4 計画策定の組織体系





## 5 会津若松市観光審議会

### ■ 会津若松市観光審議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、会津若松市観光振興条例(平成8年会津若松市条例第24号。以下「条例」という。)第10条の規定に基づき、会津若松市観光審議会(以下「審議会」という。)の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 審議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 審議会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者等の出席)

第4条 審議会は、必要があると認めるときは、関係者等の出席を求めて意見又は説明を聴くことができる。

(雑則)

第5条 この規則に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

### ■ 会津若松市観光審議会委員

任期：2年間(平成29年1月19日委嘱)

		所属団体	役職名	氏名	備考
市民団体	1	会津若松市区長会	産業部副部長	うめはら のりあき 梅原 徳昭	
	2	(公社)会津青年会議所	理事長	にへい たかふみ 二瓶 孝文	
	3	市民総ガイド運動実行委員会	委員長	みやざわ よういち 宮澤 洋一	会長
	4	会津若松市商店街連合会	会長	はがね よはち 羽金 與八	
	5	会津若松商工会議所	女性会会長	しんじょう まれこ 新城 希子	
観光団体	6	会津若松観光ビューロー	観光物産事業部課長	ばば ひろのり 馬場 博典	
	7	東山温泉観光協会	副会長	ひらが しげみ 平賀 茂美	
	8	芦ノ牧温泉観光協会	事務局長	さとう なおし 佐藤 直	
	9	東日本旅客鉄道株式会社会津若松駅	駅長	まさの さだみ 正野 定見	
学識 経験者	10	会津大学短期大学部	教授	しばさき やすひで 柴崎 恭秀	副会長

敬称略

## ■ 諮問書

28 観第 474 号  
平成 29 年 1 月 19 日

会津若松市観光審議会 会長 様

会津若松市長 室井 照平

### 第 3 次会津若松市観光振興計画の策定について（諮問）

このことについて、会津若松市観光振興条例第 8 条第 2 項の規定に基づき、下記の事項について貴審議会の意見を求めます。

#### 記

- 1 第 3 次会津若松市観光振興計画の策定について

## ■ 答申書

平成 29 年 2 月 15 日

会津若松市長 室井 照平 様

会津若松市観光審議会  
会長 宮澤 洋一

### 第 3 次会津若松市観光振興計画の策定について（答申）

平成 29 年 1 月 19 日付け 28 観第 474 号で諮問のありました標記の件について、会津若松市観光振興条例第 8 条第 2 項の規定に基づき慎重に審議を行った結果、別紙のとおり結論を得たので答申します。

## 答 申

今日、観光を地域の総合産業として振興することは、地域経済に寄与することはもちろん、地域の再発見につながり、持続的に発展する原動力になるものとして、観光振興による地域の活性化が期待されているところです。

一方、本市の観光を取り巻く環境は、大きく変化しており、長引く景気の低迷や、人口減少による国内観光市場の縮小、東日本大震災以降、いまだに続く風評被害への対応など年々厳しさを増しております。

このような状況を踏まえ、計画はフレキシブルで、文言に縛られないことが必要です。諮問依頼のありました第3次会津若松市観光振興計画につきましては、現状と課題、今後10年間の様々な環境変化に対応した、種々の要素を踏まえ、作成されているものと判断いたします。

また、策定にあたり、市民ワークショップや観光関係者との懇談会、各種アンケート等の実施といった点について、市民との協働による計画の策定に対しまして、評価するものであります。

また、個別の内容につきましては伝統産業や再生可能エネルギー、先端技術産業施設などを活用した「産業観光の推進」、原子力発電所事故による風評の払拭や来訪校数の回復、体験学習の充実に取り組む「教育旅行誘致の推進」、エクスカッション（体験型見学会）の誘致や近隣の施設を有する自治体との連携などによる「コンベンションの誘致」、観光ビューローがDMOとして機能を発揮するための取組支援などによる「観光推進組織の連携」、東京オリンピック・パラリンピックを契機とし、既存の誘客事業の強化やデジタルDMOの活用などによる「インバウンドの推進」などの基本計画を現行の取組から拡充・新設し社会環境の変化に柔軟に対応した計画であることが伺えます。

当審議会は、諮問案をつぶさに検討しました結果、その内容を適切であると判断いたしました。

今後は、この計画が円滑かつ着実に実現されますとともに、計画の推進にあたりまして、下記「付帯意見」を十分考慮し、観光振興施策の執行に当たられるよう希望いたします。

## 【 付 帯 意 見 】

- 1 数値目標の達成状況や、観光を取り巻く環境変化などを踏まえ、必要に応じた中間見直しを行うこと。
- 2 特にインバウンドを対象として、雪の利活用による観光誘客に取り組むこと。
- 3 企業等を通じた観光の推進を図ること。
- 4 会津の文化、魅力の発掘と発信により、リピーター創出を図るとともに、市民満足度の向上も図れるような観光施策に努めること。
- 5 個人旅行の誘客と併せ、本市の魅力を活かした団体旅行の誘客施策の強化を図ること。
- 6 観光閑散期への誘客に注力し、通年型観光を推進すること。
- 7 観光入込調査のほかに、宿泊日数や滞在期間、満足度調査など、多角的な調査による観光客の動向把握に努めること。
- 8 広域観光の視点に立って、周辺地域、行政との協力・協働の取組に努めること。

## 6 会津若松市観光振興条例

平成8年9月27日交付  
会津若松市条例第24号

(目的)

第1条 この条例は、本市の観光振興を図るため、市、観光事業者、観光関係団体及び市民が、本市の特性を生かした個性的で魅力ある観光都市づくりに一体となって取り組むことにより、本市観光の基本理念である「一度行ってみたい会津・来てよかった会津・もう一度行ってみたい会津」を実現することを目的とする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 観光施設とは、文化教養施設、レジャー施設、宿泊又は休憩施設、交通に関する施設その他の観光又はレクリエーションに関する施設をいう。

(2) 観光事業者とは、次に掲げる者をいう。

ア 観光施設を管理運営する者

イ 宿泊設備を備え、主に旅行者へのサービスを提供している者

ウ 歴史的、文化的価値の高い史跡若しくは名勝を所有又は管理し、かつ、一般に公開している者

エ その他市長が適当と認める者

(3) 観光関係団体とは、次に掲げる者をいう。

ア 各観光事業者との連絡調整を行っている団体

イ 観光事業者によって組織される団体

ウ 歴史的、文化的価値の高い史跡若しくは名勝を所有又は管理し、かつ、一般に公開している団体

エ その他市長が適当と認める団体

(市長の基本的責務)

第3条 市長は、第1条に掲げる目的を達成するため、次の事項について必要な施策を総合的に講ずるものとする。

(1) 多様化する観光客の需要に対応して、魅力ある観光都市づくりを推進すること。

(2) 観光事業者、観光関係団体及び市民と一体となり、心のこもったもてなしのできる体制の整備促進を図ること。

(3) 高速交通時代に対応した広域的観光を展開し、かつ、宿泊拠点となりえるまちづくりを推進すること。

(4) 豊かな自然と歴史的資源を生かしたまちづくりを推進すること。

(5) 国際観光モデル地区にふさわしい国際性豊かなまちづくりを推進すること。

(観光事業者及び観光関係団体の役割)

第4条 観光事業者及び観光関係団体は、第1条に掲げる目的を達成するため、次の事項についてその役割を担うものとする。

(1) 多様化する観光客の需要に対応して、積極的に受入れ体制の整備を図り、魅力ある観光地づくりに努めること。

(2) 市、他の観光事業者及び他の観光関係団体と連携を図り、観光情報の収集、提供及び誘客宣伝に努めること。

(3) 隣接する観光地と広域的な交流を図るとともに、国際性豊かな観光地づくりに努めること。

(4) 地場製品の積極的な活用を図り、本市産業の振興に努めること。

(5) 観光の意義を正しく認識し、市の観光振興に関する施策に協力すること。

(市民の役割)

第5条 市民は、第1条に掲げる目的を達成するため、次の事項についてその役割を担うものとする。

(1) 市民1人1人が観光ガイドであるという意識を高め、心のこもったもてなしに努めること。

(2) 観光行事に積極的に参加し、にぎわいのあるまちづくりに努めること。

(3) 地域の歴史的、文化的資源を大切にし、自信と誇りを持てるまちづくりに努めること。

(4) 地域内の生活環境及び自然環境の美化に努め、市の観光振興に関する施策に協力すること。

(観光振興計画)

第6条 市長は、観光の振興に関する基本的な方向を明らかにした計画(以下「観光振興計画」という。)を策定するものとする。

2 観光振興計画には、次の事項を定めるものとする。

- (1) 観光の振興に関する基本方針
- (2) 観光の基盤の整備及び環境の形成に関する基本的施策
- (3) 基本的施策に関する市、観光事業者、観光関係団体及び市民が担う事項
- (4) その他観光の振興に関する事項

(助成措置)

第7条 市長は、市民、観光事業者及び観光関係団体が行う事業で、観光振興に寄与すると認めるときは、当該事業に対し、予算の範囲内において助成措置を講ずることができる。

(審議会の設置)

第8条 市長の附属機関として、会津若松市観光審議会(以下「審議会」という。)を置く。

2 審議会は、市長の諮問に応じ、観光の振興に関する事項を調査審議するものとする。

(審議会の組織)

第9条 審議会は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する委員10人以内をもって組織する。

- (1) 各種団体の代表者
- (2) 観光関係団体の代表者
- (3) 学識経験者

(平11条例22・一部改正)

2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(平11条例22・一部改正)

(委任)

第10条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 第6条第1項の規定により策定される観光振興計画は、平成8年2月7日に策定された会津若松市観光振興計画を基本として推進する。

附 則(平成11年3月31日条例第22号)

(施行期日)

1 この条例は、平成11年4月1日(以下「施行日」という。)から施行する。

(経過措置)

2 施行日において現に在職する委員の任期は、なお従前の例による。ただし、市議会議員から選任された委員は、施行日にその身分を失う。